

ほのほのだよ

～ おすすめの読み聞かせ絵本 ～

今月はお薦めの絵本を紹介したいと思います。お昼寝の前や自由遊びの時に「先生、この本読んで」と保育士に持って来たり、お友達同士で楽しそうにページをめくったりしています。「くもの糸」では正しい言葉、美しい日本語を伝えていきたいと思い、読み聞かせをしています。

「くもの糸」 (4・5歳児向け)

出版社：TBS ブリタニカ

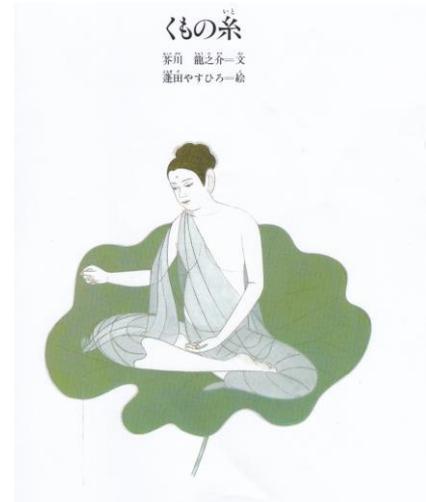
文：芥川 龍之介

絵：蓬田 やすひろ

年中年長組は、童謡指導の笈川先生と「蜘蛛の糸」を音読しております。難しい言葉もありますが、意味を理解する事よりも、その言葉に触れること、言葉として声に出すことを大切にしております。一文をご紹介します。

『ある日のことでございます。お釈迦さまは、極楽のはす池のふちを、ひとりてぶらぶら、お歩きになっていらっしゃいました。』

と美しい文章が原文で続きます…。



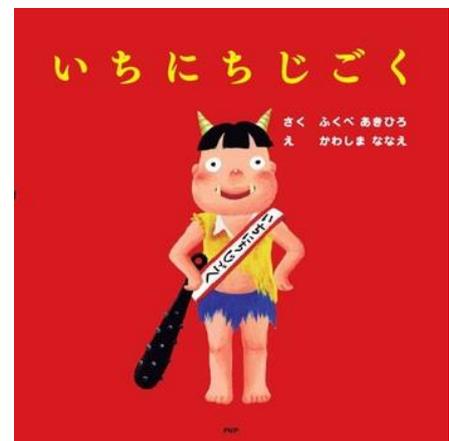
「いちにちじごく」 (幼児クラス向け)

出版社：PHP 研究所

文：ふくべ あきひろ

絵：かわしま ななえ

鬼やおばけは怖いけど、そのお話は大好きな子ども達です。「わるいことをしたらじごくにいくってほんとかな？」と絵本が始まります。絵本の中の「字」も大きいので、ひらがなを覚えた子ども達が自分で読み、楽しんでいます。ユーモアあるこの絵本は、他にも「いちにちおもちゃ」などシリーズ化されています。



「うたう！ももたろう」 (乳児クラス向け)

出版社：赤ちゃん和妈妈社

作・絵：スギヤマカナヨ

みなさんご存知の童謡、「ももたろうさん ももたろうさんお腰に付けた きびだんご ひとつ 私にくださいな」の歌がお話になっています。ももたろうがうまれる場面から、鬼退治する場面まで、歌っても読み聞かせ出来る一冊です。

